

ちょっと気になる 健康の話

インフルエンザと風邪の違い

インフルエンザ

◎原因

A型とB型のインフルエンザウイルスが原因。風邪のウイルスに比べ、インフルエンザウイルスは感染力が強く、咳やくしゃみの飛沫から感染するため、学校など人が集まりやすい所で集団感染を引き起こすことがあります。

◎症状

1〜3日程度の潜伏期間を経て発病。頭痛や関節痛、筋肉痛等の症状と共に38度以上の高熱が出ます。急激に発症し、全身症状も強くみられ、脳症など重症化します。

◎治療

インフルエンザは数日で自然によくなりますが、インフルエンザには有効な抗ウイルス剤があり、症状・合併症の有無・既往歴などに応じて抗ウイルス剤を使用します。抗ウイルス剤を発熱後48時間以内に使用すると症状のある期間を1〜2日程短くすることができます。インフルエンザでは異常行動がみられることがあり、少なくとも発熱して2日間は薬を服用していなくても異常行動に注意が必要です。

◎治癒

通常6〜7日くらいの経過ですが、症状が軽くなってもウイルスの感染力は失われていません。感染拡大防止のため「発症後5日を経過し、かつ解熱した後2日(幼児は3日)を経過するまで」の間、出席停止の措置がとられます。

◎予防

インフルエンザワクチンは50%前後の効果が期待できます。流行がはじまる前に予防接種をしましょう。風邪でワクチンがあるのはインフルエンザだけです。マスク着用などの咳エチケットを徹底し、周囲への感染予防を心がけましょう。



インフルエンザ

A型
インフルエンザ
ウイルス

B型
インフルエンザ
ウイルス

風邪

ライノウイルス

アデノウイルス

ロタウイルス

RSウイルス

風邪

◎原因

一般的な咳、鼻水の原因としては、アデノウイルス、ライノウイルス、RSウイルスなど様々。

◎症状

発熱する場合も高熱にならずに済むことも多く、全身症状はインフルエンザほど強くありませんが、気管支炎・肺炎を合併することもあり、特にRS、人メタニューモウイルスなどでは、喘鳴が出現して呼吸が苦しくなることがあります。

◎治療

風邪を治す薬はありません。自然に治ってくるまで症状に応じて対症療法を行います。中耳炎、気管支炎、肺炎で細菌感染を合併した場合には抗生物質を使用します。

◎治癒

まれに長引くこともありますが、通常5〜6日で治癒。

◎予防

インフルエンザと同じように咳エチケットが大事です。予防接種はありません。

